



佐世保特別支援学校 地域支援部では、地域の特別支援教育に対する理解を深め、子供たちへの指導・実践に生かしてもらうことを目的として、特別支援教育に関する情報の提供や講義、グループ協議など研修の機会を提供しています。

6月4日に、地域の小・中学校の先生方を対象に、第1回学習会を行いました。対面で37名、小値賀町から4名の先生方がオンラインで参加してくださいました。今回の学習会の内容と先生方からいただいたアンケートの感想を、少しご紹介します。

第1回学習会	テーマ:「自立活動の指導のポイント」
【内容】 ・「自立活動」の目標・取り扱い・授業時数について ・実態把握から指導目標の設定まで ・学習上または生活上の困難って何だろう？ ・自立活動の授業づくり、授業展開の工夫 ・授業の実際 など 【学習会後のアンケートから ～一部をご紹介します～】 ・自立活動についてだけでなく、幅広く、指導・支援の在り方を教えていただき、大変ためになりました。担任している子供のために、明日から早速取り組みたいことがたくさんありました。(小学校) ・自立活動について、児童の実態把握がとても大切だと思いました。また、成功体験を積むことの大切さも分かりました。(小学校) ・自立活動の時間を、有効に指導できるように計画や教材を見直そうと思いました。(小学校) ・初めて特別支援学級の担任を受けもちました。これから個別の指導計画を立てていく準備をしているのですが、様々なポイントを聞かせていただき参考になりました。指導においては、個々に特性が異なるので難しいと日々感じていますが、様々なことにチャレンジしてみようと思います。(中学校) ・分かりやすかった。自立活動の時間の指導に「どのようなことをしたらよいか」と悩むことも多いです。このような学習会に積極的に参加し、自分自身がスキルをつけていかなければと感じました。(中学校)	



「実態から指導や活動を考える」

「どんな活動がありますか？」とよく聞かれますが、一人一人の実態に応じて指導内容が変わってきます。まず、実態や将来の姿から優先課題を捉えていくこと、課題の背景要因を捉えていくことなどが大切な作業になります。

「活動に子供をあてはめるのではなく、子供の姿から活動を考える」ことを大事に、課題や指導内容などについて、お悩み、ご質問がありましたら、お気軽に、地域支援部までご相談・お問合せください。一緒に、「自立活動の指導」の目標や指導の方法について深めていければと思います。



次回学習会『特別支援教育教材展示会 in 長崎』のお知らせ

今回、非営利活動任意団体「空に架かる橋」の教材展示会を佐世保市で開催できることになりました。先生方から「特別支援教育に関する教材を知りたい」というご要望も多く、この機会をどうぞご活用ください。

<日時>8月5日(火) ①11時～ ②14時～ (120分入替制) ※場所:アルカス佐世保

<講師>空に架かる橋代表 いるかどり (公立小学校教諭、特別支援教育コーディネーター、学校心理士)

<内容>自立活動の授業づくり(30分)、子ども主体で考える教材づくり(90分)

※主催・申込は、団体「空に架かる橋」になります。完全予約制です。

右記の URL、二次元コードよりお申込みください。

申し込み



<https://irukadori.jp/events>